

# 「都構想」ってなに？

大阪市を廃止し、特別区に分割する計画。維新の会は、「大阪府と大阪市があるのは“二重行政の無駄”」と「都構想」を持ち出しました。すでに大阪府立大学と市立大学、府立病院と市立病院…。必要とする人が大勢いるのに、統合・廃止されようとしています。「都構想」は、すでに15年5月に住民投票が実施され、反対多数で否決されました。当時の5区分割案から、4区分割案に変えただけで、再び住民投票が狙われています。



## ◎ 特別区

大阪市がなくなり設置される特別区では、市長にかわって区長、市議にかわって区議を選挙で選びます。現在の行政区は「地域自治区」に。

水道や介護保険などの規模の大きな事業は、「一部事務組合」が担うことになり、住民からは遠くなります。

府と特別区、一部事務組合に地域自治区…。住民の声が反映されるどころか、とても複雑な制度になってしまいます。

知らんまに  
進んでる??

- ~2019年12月 協議会で協定書(計画書)の方向性を確認
- 2020年2~4月 出前協議会の開催
- 4~6月 協定書の取りまとめ
- 府市両議会で議決
- 2020年秋冬 住民投票!?

えっ!!  
1年後?

大阪市が  
なくなれば  
戻れません



※「大都市制度(特別区設置)協議会」提出資料を元に作成 (19年10月24日時点)

# ◎ ◎ ◎ 大阪市だから実現できる

大阪市は、古くから経済・商業の中心地として栄え、大都市に発展。1956年に、京都市や名古屋市など4市とともに、最初の政令指定都市(以下、政令市)となりました。政令市は、一般の自治体より多くの権限と財源を持っています。

「都構想」で問われるのは、政令市の大阪市を存続するか廃止するかです。



## 大阪・関西の発展に貢献

大阪市には、住民以外にも、多くの人が通勤・通学しています。大阪市は、府内の市町村と協力し、大都市の機能と政令市の権限・財源を活用して、大阪・関西の活性化に貢献してきました。

## 大阪市の役割

政令市だからこそ、総合的にスピーディーな住民サービスの提供が可能です。大阪市には住民の生活を支える独自の事業がたくさんあります。また、防災の都市計画も、独自に進められます。

## ■ 大阪市と特別区を比較

	大阪市	特別区
首長(大阪市は市長、特別区は区長)を選挙で選べる	○	○
議会議員(大阪市は市議、特別区は区議)を選挙で選べる	○	○
介護保険料の独自引き下げ	○	×
上下水道	○	×
府が進めるカジノ誘致など重要政策についての意思決定	○	×
教員の独自採用で少人数学級の実施	○	×
国との直接交渉	○	×
病院の設置認可	○	×
防災拠点づくりのための大きな公園の整備	○	×

## 住民自治の実現は

column  
まちづくりや地域のことは住民が決めるのが、「地方自治」本来のあり方です。大阪市は「基礎自治体」として身近な住民サービスを行ってきました。地域協議会や公選制区長など、各行政区毎の住民のニーズを反映する仕組みづくりは、大阪市のみで十分可能です。

